

新緑が目には鮮やかな季節となりました。

奈良市の全小中学校への司書の支援も5年目に入り、学校図書館の整備もどんどんすすんでいます。今回は、学校図書館をもっと楽しんでもらうために、図書委員さんとできるアイデアをいくつかご紹介します。

館長のご挨拶

現在は、小さな子どもたちも自在にスマホ等を操り、好きなことを調べたり情報を取得したりする時代ですが、紙の書物に触れて知識や教養を深める機会を持つことは、変わらずに大切なことであると思います。本棚の中に思いがけない楽しみを見つけて、「学校図書館に来てよかった。また行こう」と感じてもらえるようなお手伝いが出来たらと思っています。

4月からの新米館長ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

中央図書館長 森西美也子

先生！
こんなこと
言ってますか？

本を返す時、「元あった場所へ」とは言わないで！

本の背ラベルには、大切な情報が書かれています。

本の背に貼られたラベルは、本の「住所」を示しています。ラベルに書かれた数字やカタカナを見て、同じサインがついた棚へ戻しましょう。

「元の場所」を覚えておかなくても大丈夫！図書館をきれいに保つことにもつながります。

子どもたちへの声かけをおねがいします！

「本を見て同じ番号の棚に返してね」

「背ラベル」は
本の住所だよ！

学校図書館を 楽しもう！ もっと！



学校図書館は本を借りるだけの場所だと思っていませんか？ それではもったいない！ 図書館の日常にちょっとした工夫をして、もっと楽しんでみましょう。いくつかのアイデアをご紹介しますので、ぜひチャレンジしてみてください！

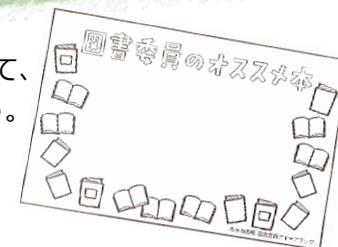
●参考にした本『図書委員アイデアブック』あかね書房

本の返却パズル

クラスの人数にあわせてパズルのピースを切り分けます。本を返却したら、ピースを1枚台紙にはります。クラス全員でパズルを完成させましょう。

本の紹介POP

「紹介カード」をつくって、本の魅力を伝えましょう。表紙のコピーがあるとわかりやすいですね。



図書館ビンゴ

決められたジャンルの本を読んで、ビンゴを目指すゲーム。いつもは手に取らない本と出会うきっかけになります。

本のおみくじ

おみくじを用意します。おみくじに書かれた分類の本を借りることで、今まで読んだことのないジャンルの本を手にするきっかけになります。

